

令和7年度

事業計画書

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

社会福祉法人 三芳町社会福祉協議会

令和7年度 事業計画書

《 基本方針 》

昨年度の1年間も、生活困窮状態の方からの相談は断続的に続き、養育環境等に課題を抱える子どもたちへの対応を続けてきた1年でした。子ども一人ひとりの状況に応じた、より個別性の高い支援の必要性を感じ設置した「子ども応援夢基金」は設置から9年経ちましたが、社会状況は深刻化の一途を辿っています。相対的貧困率の高さ、非正規雇用の増加、単身世帯の増加等に起因し、若年層の貧困問題も顕在化しており、自立に向けた総合的な支援が必要になっています。また、高齢化は向こう15年、ピークに向かい進行を続け、介護予防や見守りを中心とした孤立対策や生きがい支援もますます需要が高まっています。

本会は、高い専門性と倫理観をもった福祉事業を展開できるよう職員の意識の向上を図りながら、「子どもの貧困」「生活困窮問題」「若年性認知症の人の社会的役割」「高齢者の孤立・孤独」「認知症の人の生活問題」「災害時の緊急援助」「人生最期・死後問題」の7つの課題を柱に解決活動を続けています。令和7年度も、困りごとを抱えた方々の尊厳と権利を尊重し、個々のニーズに合わせた伴走支援を続け、そして、地域住民や関係機関と連携し、優しさに溢れたより良い地域づくりに全力を投じます。

《 重点的な取り組み 》

- 1 小地域福祉活動の推進と地区社会福祉協議会設置に向けた環境整備
- 2 生活困窮世帯への自立支援及び子どもの貧困問題への対策
- 3 生活支援体制整備事業の推進による支え合いの環境・資源づくり
- 4 福祉教育推進による共生社会や多様性の理解増進

社会福祉法人三芳町社会福祉協議会 組織憲章

- 1 専門職として倫理観と誇りを持ち、絶えず自己研鑽を重ね、先駆的で開発的な精神によって、最も有効な解決手段をもって、根本的な課題解決を目指して誠実に取り組みます。
- 2 三芳町で暮らす人たちの困りごとに対し、あらゆる手段をもって、孤立しないでその人らしい生活ができるよう取り組み、困難な状況に陥っても支援する・されるといった立場を超えて支え合うことができる町を創ります。
- 3 苦境にある人々に対して年齢・性別・性的指向・障がい・国籍・人種・宗教・信条・政治的な関りを超えて差別することなく、誰一人取り残されることのない支援をします。
- 4 民間財源の確保を行い、公的財源では対応が困難な課題の解決に対して、制度や既存事業を当てはめるだけではなく、自由で柔軟な発想による事業、社会資源の開発・改善に挑戦し続けます。
- 5 組織と職員一人一人が社会課題を発信し、解決のための勇気を与える存在になるとともに、社会を良くするイノベーション（革新・ムーブメント）を誘発します。

社会福祉法人三芳町社会福祉協議会 職員体制（令和7年度予算）

	事務局長	事務局 庶務係	事務局 事業係	藤久保 学習教室	デイサービス けやきの家	居宅介護 支援事業所	三芳町ふれあいセ ンター
正規職員	1	2	7		1	1	1
常勤嘱託職員					7		
非常勤職員		1		3	10		5

計39名

1 法人運営及び組織管理

事業名	目的	内容	実施予定	協力・推進体制	今年度予算額(千円)	前年度予算額(千円)
			時期・回数			
理事会	適正な法人運営	法人の業務執行	5月・3月	—		
			及び随時			
評議員会	適正な法人運営	法人運営の重要事項決議	6月(定時)	—	144	144
			・3月			
			及び随時			
監査	適正な法人運営	理事の業務執行状況監査	5月	—	5	9
各種委員会・協議会	専門審議による課題解決	評議員選任・解任委員会	年2回予定	委員会	136	146
		地域福祉活動計画策定委員会	年2回予定	委員会		
		生活困窮者対策検討委員会	年3回予定	委員会		
		次世代を担う子ども達の支援検討委員会	年3回予定	委員会		
		苦情解決第3者委員会	不定期	委員会		

事業名	目的	内容	実施予定	協力・推進体制	今年度 予算額 (千円)	前年度 予算額 (千円)
			時期・回数			
職員研修	職員の資質向上	内部・外部研修実施	随時	—	247	208
社協会員の募集	地域福祉活動の財源確保及び理解の促進	一般世帯への募集・周知	通年	区長会	2,600 (収入予算)	2,920 (収入予算)
		法人事業所への募集・周知				
寄付金の募集 (一般寄付) (愛の福祉基金) (子ども応援夢基金) (緊急支援募金) (キャンペーン寄付)	社会問題解決活動のための財源確保	・個人・法人への寄付依頼・広報	通年	—	7,920 (収入予算)	7,460 (収入予算)
		・月額定額寄付者増加のための依頼・広報				
		・指定寄付・キャンペーン寄付の推進				
社協だより発行	福祉情報の提供・社協広報	年4回全戸配布、社会問題の啓発、社協の事業告知、サービス情報を掲載	年4回 (6月・9月・11月・2月)	—	2,369	2,329
活動報告会	本会実施の社会問題解決活動の報告	寄付者等に向けた活動報告会実施	5月・10月	—	—	—

2 地域福祉活動の推進による社会課題の解決

三芳町の住民が自分達の生活の困りごと（生活課題）や共通する課題（社会課題）、生活に望むこと（生活の質）に気付き、困りごとの解決や望むことの達成を目指す取り組みを考え、5年間の取り組みを年度ごとに計画づくりを行った地域福祉活動計画に基づき、地域福祉の推進と社会課題解決を図ります。

事業名	目的	内容	実施予定	協力・推進体制	今年度予算額 (千円)	前年度予算額 (千円)
			時期・回数			
地域福祉活動計画実施推進	計画に基づく地域福祉活動の推進	第3次計画実施	通年	策定委員会 地域住民	6	6

3 子どもの貧困対策事業

子どもの貧困率は11.5%で9人に1人の子どもが貧困状態にあり、ひとり親世帯では44.5%と高い水準にあり、約2世帯に1世帯が貧困状態にあります。この様な家庭は日々の食事や日常・学校生活に必要な物が揃えられない、進学に困難を抱え将来に夢を持っていない子どももいる事から、食・生活習慣・学習支援・社会体験等、当たり前で育つ環境の提供を行います。また、ヤングケアラー状態にある子どもや保護者への相談支援等も実施します。

事業名	目的	内容	実施予定	協力・推進体制	今年度予算額 (千円)	前年度予算額 (千円)
			時期・回数			
藤久保学習教室 (子ども第三の居場所事業)	生活困窮世帯等の子どもに対する学習支援・食事支援・基本的な生活習慣や社会性の習得支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援・食事支援・基本的な生活習慣や社会性の習得支援活動 ・送迎支援によるアウトリーチ 	週3回	ボランティア	8,673	8,740
北永井学習教室			週1回	ボランティア	728	498

事業名	目的	内容	実施予定	協力・推進体制	今年度予算額(千円)	前年度予算額(千円)
			時期・回数			
(子ども応援夢基金) 給付事業	生活困窮世帯等に対する学業継続、進学支援等	学力テスト代、学用品代等、学業継続・通学・進学等に必要な費用の給付	通年	—	250	300
子ども食堂事業	子どもの貧困対策(低栄養対策・孤食対策)	子ども食堂実施・推進	通年	ボランティア	874	821
朝食支援事業	欠食児童の低栄養対策	朝食欠食児童への食糧提供	通年	ボランティア	600	612
夏キャンプ事業	生活困窮世帯等の子どもに対する社会体験の格差対策	一泊二日キャンプ事業	8月	ボランティア	609	551
制服・学用品等リユース	生活困窮世帯の子どもに対する学校生活支援	制服や学用品の購入が困難な世帯へリユースによる提供	通年	—	—	—
一人親・親なし家庭クリスマスプレゼント配布	母子・父子家庭、親なし家庭に対する次世代健全育成支援	母子・父子家庭、親なし家庭の子どもへクリスマスプレゼント配布(申請方式)	12月	ボランティア	1,032	771
おしゃべりサロン(一人親家庭等情報交換事業)	母子・父子家庭居場所創出・交流支援	サロン開催	年12回	ボランティア	493	491
ヤングケアラーセミナー	ヤングケアラー問題に関する理解促進	セミナー開催	6月	—	72	67
ヤングケアラー支援事業	ヤングケアラーに対する生活支援	食事提供	通年	—	160	—

4 生活困窮世帯等対策事業

コロナ禍以降、非正規労働・低年金等による低所得状態にある方、物価高騰による生活苦等の相談が続いています。相談のきっかけをつかめない方も潜在的にいたることが想定されるため、人生の苦境にある方が、安心して相談ができ、安定した生活が送れるよう、相談支援・食料提供等の支援を実施します。また、困窮状態にある方は人とのつながりが希薄な場合が多く、課題が複雑化する場合も見られることから地域でのつながりづくりの取り組みも行っていきます。

事業名	目的	内容	実施予定	協力・推進体制	今年度予算額(千円)	前年度予算額(千円)
			時期・回数			
福祉・生活相談事業	住民の生活課題の解決	職員（社会福祉士・精神保健福祉士等）による生活相談受付	随時	—	—	—
自立相談支援事業	生活困窮者自立支援法に基づく困窮世帯の自立支援	自立相談支援	通年	—	3,944	3,944
家計支援事業		家計支援				
生活困窮者自立支援事業（※委託事業）		他の支援機関との連携				
生活福祉資金貸付事業（※委託事業）	経済支援・自立支援	教育資金・住宅資金等、使途に応じた県への貸付申請事務及び相談援助	随時	民生児童委員	4,818	4,802
三芳町福祉資金貸付事業	応急的経済支援	低所得世帯に対し、応急的なつなぎ資金貸付及び相談援助	随時	民生児童委員	960	960
生活困窮者居場所支援事業（アットホーム）	生活困窮世帯居場所創出	サロン開催	年12回	ボランティア	162	157

事業名	目的	内容	実施予定	協力・推進体制	今年度予算額(千円)	前年度予算額(千円)
			時期・回数			
就労継続支援事業 (気まぐれ)	就労中の生活困窮者等の就労継続支援	・サロン開催 ・就労相談受付	年12回	ボランティア	7	7
若年困窮者支援事業	若年困窮者の居場所・仲間づくり	サロン開催	年12回	—	31	—
法外援護金の支給	緊急生活支援・行路人援護	緊急時の生活支援費支給・交通費支給	随時	—	5	50
歳末援護金の配布	歳末時期の経済支援	歳末時期に援護金を配布する	12月	—	655	664
緊急食糧支援	失業、減収世帯等への緊急食糧支援	緊急食糧支援	随時	—	245	400
緊急生活用品・生理用品支援	失業、減収世帯等への緊急生活用品等支援	緊急生活用品・生理用品支援	随時	—	21	18

5 災害時の緊急援助事業

近年、災害が頻発しており、被害も激甚化している傾向が見られます。三芳町においても地震等の災害による住民の生活支援ニーズの対応に備え、災害ボランティアセンターの円滑な運営が行えるよう、定期的な訓練による職員の資質向上と、地縁組織・ボランティア等との連携を図ります。

事業名	目的	内容	実施予定	協力・推進体制	今年度予算額(千円)	前年度予算額(千円)
			時期・回数			
災害ボランティアセンター運営訓練	大規模災害等、緊急時における行動体制の構築及び基盤整備	災害ボランティアセンター運営訓練	10月	災害ボラセンスタッフ	7	6

6 高齢者の孤独・孤立対策事業

高齢化の進展と同時に、高齢者の単身・老々世帯が増加しています。地域の希薄化も課題として挙がる中、高齢者の孤独・孤立化による、心身の変化により支援が必要な状態であっても助けを求められない、孤独死等の社会的課題も表面化しています。地域住民が主体的に見守りや地域のつながりづくりを進められるよう、小地域福祉活動の推進に取り組みます。また、地域の世代間交流を進め、世代を超えた助け合いが行われるよう、地区社協の設立支援・運営支援の中で図っていきます。

事業名	目的	内容	実施予定	協力・推進体制	今年度予算額 (千円)	前年度予算額 (千円)
			時期・回数			
小地域福祉活動の推進	地域ごとの福祉課題解決のための環境整備及び共助の仕組みづくり	ふれあい・いきいきサロン活動支援（運営助成等）	随時	地域住民	73	97
		地区社協設立支援・運営支援	通年	地域住民	582	445
		一人暮らし高齢者会食会	6小地域地区ごと／月1回	地域住民	101	144
		地域サロン（囲碁・将棋）	通年	ボランティア	32	32
		地域ふれあい会食会実施支援	通年	民生児童委員	149	149
		福祉新聞の発行による見守り活動	通年／月1回発行	地域住民	19	62

7 終活支援対策事業

高齢者の単身・老々世帯が増加し、自分が亡き後の対応を子どもや親族に頼めない、自分が望む最後を迎えるために何を準備ればよいのか分からない等、終活支援に対するニーズが増えています。自分の尊厳を大切にしたい終活が行えるよう、事前に必要な準備を行える機会の提供を行います。

事業名	目的	内容	実施予定	協力・推進体制	今年度予算額(千円)	前年度予算額(千円)
			時期・回数			
終活支援セミナー	終活についての理解促進	セミナー開催	7月・9月	—	100	80
エンディングノートの作成	エンディングノートの必要性啓発	セミナー開催時に配布	7月・9月	—	17	14

8 障がい児(者)支援・当事者団体支援事業

様々な福祉制度が充実し、障がいがあっても地域で生活できる基盤が整ってきましたが、障がいのある子とない子の交流する機会が減少しています。共生社会実現の一環として、障がいのある、なしに関わらない同世代同士の交流機会を提供します。また、同じ障がいを抱えた方がピアカウンセリングとアドボカシー活動が行える当事者支援活動を支援します。

事業名	目的	内容	実施予定	協力・推進体制	今年度予算額(千円)	前年度予算額(千円)
			時期・回数			
障がい児余暇活動支援事業	障がい児の余暇支援青少年との交流	障がい児余暇支援事業	年3回 (8月・12月・3月)	ボランティア	11	17
視覚障がい者支援事業	移動支援	ガイドヘルプボランティア調整による制度外の移動支援	通年	ボランティア	7	9

9 権利擁護事業

認知症・知的障がい・精神障がい等により判断能力が不十分なため、適切な福祉サービスの利用や書類整理、金銭管理等が難しく、権利侵害や日常生活上不利益を講じる方に対し、福祉サービス利用手続き等の適切な支援を実施します。また、必要に応じ、成年後見制度の利用に対する説明や支援を行います。

事業名	目的	内容	実施予定	協力・推進体制	今年度予算額(千円)	前年度予算額(千円)
			時期・回数			
福祉サービス利用援助事業 (※委託事業)	判断能力が不十分な方の権利擁護	福祉サービス利用手続き支援	通年	支援員	2,416	2,511
		日常的な金銭管理・公的手続き支援				
		権利証等の書類保管				

10 多様な主体との連携や担い手養成による社会課題解決事業

高齢者の孤独・孤立、高齢者の虚弱化、子ども・成人の困窮、障がいによる生活に不自由を抱える方など、地域で生じている様々な社会課題の解決には、住民、地縁・福祉的支援組織等様々な主体との連携が求められます。また、対応が不十分な社会課題に対応する支援団体による取り組みの促進も必要となります。地域の多様な主体と本会が連携・支援を行う事で支援の重層化を図ります。

事業名	目的	内容	実施予定	協力・推進体制	今年度予算額(千円)	前年度予算額(千円)
			時期・回数			
ボランティアセンターの運営	ボランティアの振興・活動促進	ボランティア活動普及啓発	通年	ボランティア	16	13

事業名	目的	内容	実施予定	協力・推進体制	今年度予算額(千円)	前年度予算額(千円)
			時期・回数			
町民福祉活動応援助成	住民による地域福祉活動の活性化	当事者組織・ボランティアグループ他NPO等に対する活動助成	年1回 (緊急時は随時)	ボランティア	425	425
ボランティア相談・調整	ボランティアの振興・活動促進	相談調整	通年	—	—	—
ボランティア養成講座	ボランティアの振興・活動促進	講座開催	2月	—	41	159
夏のボランティア体験プログラム	ボランティアの振興・活動促進	地域福祉活動や福祉施設でのボランティア体験の場の提供	7月・8月	ボランティア団体・福祉施設	58	45
生活支援体制整備事業 (町委託)	地域包括ケアシステム構築に向けた生活支援サービスの開発	・協議体の運営	通年	地域住民 ボランティア	8,000	8,000
		・生活支援サービスの開発				
		・生活支援コーディネーターの配置				
		・生活ニーズ調査の実施				
みよし友愛サービス	会員相互によるたすけあい家事支援	協力会員による掃除・買い物等の家事支援調整	通年	協力会員	1,398	1,740
行政区福祉活動推進助成	行政区による福祉活動支援	14行政区への助成金	6月	—	280	280
福祉団体助成	関係団体への助成による活動支援	民生・児童委員協議会への助成金	6月	—	190	190
		ボランティア連絡会への助成金				

1 1 共生社会の実現に向けた啓発事業

共生社会（障がいの有無や年齢、性別などにかかわらず、すべての人々が互いに理解し合い、支え合いながら生きていく社会）の実現には、課題を抱えた人の現状理解や、ひとりひとりが状況に応じて取り組める支援の提供を促す事が必要となります。多様性の理解とを得られる機会を提供し、地域共生社会の実現に向けた取り組みを行います。

事業名	目的	内容	実施予定	協力・推進体制	今年度予算額 (千円)	前年度予算額 (千円)
			時期・回数			
福祉教育推進事業	多様性を認め合う共生社会の実現	相談受付・プログラム提供・調整	通年	福祉教育推進員	—	—
		福祉教育担当教員研修	8月	福祉教育推進員	80	239
		福祉教育担当者会議	月1回			
		協力校への助成	4月			
			車イス・点字器等の貸出	随時	—	—
あいサポート運動推進事業 (委託事業)	多様性を認め合う共生社会の実現	あいサポーター養成	通年	あいサポート メッセン ジャー	1,471	1,497
		メッセンジャー養成				
		あいサポート企業認定推進等				
福祉大学の開催	福祉啓発及び、住民の福祉意識の向上	福祉啓発講座開催	年3回 (10月～12月)	—	242	237
福祉まつり	福祉啓発・福祉体験 共生意識の醸成	・福祉展示・福祉体験・模擬店・アトラクション等の総合福祉イベント	12月	実行委員会	2,100	2,100

1 2 介護保険事業

若年性認知症の方は、自らの社会的役割等の自己実現を求める方が多く、通常の介護保険事業には馴染まない傾向が強く、サービスにつながらず、閉じこもりがちになる方も多くみられます。若年性認知症の方が役割と生きがいを持ち、自分らしく生活が送れる為に、就労的活動や自己実現を図る事ができる取り組みを進めます。また、認知症の方がいつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせる支援も実施していきます。

事業名	目的	内容	実施予定	協力・推進体制	今年度予算額(千円)	前年度予算額(千円)
			時期・回数			
デイサービスセンター 「けやきの家」	認知症高齢者支援	認知症専門デイサービス	通年	—	88,417	81,778
		若年性認知症デイサービス	通年	ボランティア		
		認知症カフェ（町委託）	月1回	—		
	子どもの貧困対策 （地域公益事業）	一組食堂	週1回	ボランティア		
居宅介護支援事業 （ケアプラン）	高齢者支援	ケアプラン作成・相談支援	通年	—	7,194	7,128

1.3 公益事業の運営

高齢者の介護予防には社会参加が重要とされており、高齢者が常時通える居場所の設置が効果的です。高齢者が常時集え、交流を通じた介護予防を享受できる居場所を設置し、様々な講座等を通し、健康長寿の実現を目指す取り組みを推進します。また、近年のICT化に高齢者が対応できるよう、スマートフォン相談等を実施します。

事業名	目的	内容	実施予定	協力・推進体制	今年度予算額(千円)	前年度予算額(千円)
			時期・回数			
ふれあいセンター事業 (町委託事業)	シニアを中心とした地域交流・健康維持の活動拠点	・フロア貸出・ヘルストロン	通年	—	21,797	20,919
		・健康・デジタル活用セミナー、運動プログラム				
		・高齢者買い物支援				
		・交流事業(食堂・カフェ)				
		・スマホ相談等実施				

令和7年3月27日提出

社会福祉法人三芳町社会福祉協議会
会長 篠原 拓平

